



大阪産業大学工学部のWEBサイトにお越し頂きまして、誠にありがとうございます。9月より工学部長に就任いたしました杉山明と申します。工学部長として、一言ご挨拶申し上げます。

大阪鉄道学校として産声を上げた本学は、昭和40年(1965年)に大阪交通大学へと改組すると同時に工学部を設立し、昼間部の第一部、夜間部の第二部に機械工学科と交通機械工学科が設置されました。同年10月には現在の大阪産業大学に改称され、昭和42年(1967年)に土木工学科、昭和59年(1984年)に電気電子工学科が増設されました。また、平成に入って平成2年(1990年)に情報システム工学科、環境デザイン学科が加わり、平成24年(2012年)に至るまで、6学科体制で我が国の工業社会を支える技術者の育成に尽力して参りました。この間、社会で求められる技術の変遷に合わせて学びの形も最適化し、土木工学科を都市創造工学科に、電気電子工学科を電子情報通信工学科に、環境デザイン学科を建築・環境デザイン学科にそれぞれ改称致しました。

平成24年(2012年)には、より豊かな社会の実現には、技術力に加えてデザインの力が必須であるとの考えのもと、デザイン工学部が設置されました。情報システム工学科は情報システム学科として、建築・環境デザイン学科とともに発展的にデザイン工学部への移設が行われました。工学部は、工業技術の核となる学問を集約し、時代と共に変遷する社会で必要とされる技術に柔軟に対応するため、現在の4学科体制に至っております。

工学部では、先端的な研究を実践的な技術として社会に還元するために、地元企業ともより一層友好的な関係を結んでいきたいと考えています。また、これら研究成果を教育課程にも反映し、実社会において自ら考え、最適な提案ができるように、技術者の育成を行って参ります。半世紀以上の長い歴史で培われた伝統とノウハウをフルに活かし、学生を第一とした教育と、地域に開かれた研究活動で、親しみやすく地域社会に貢献できる学部を目指して参ります。

これまで以上に大阪産業大学工学部の教育研究に、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和2年(2020年)9月

工学部長 杉山 明